

## 資料編

1. 時系列	.....	資料1
2. 新聞記事	.....	資料2

## 資料 1 : 時系列

## 鳥取県西部地震関係時系列

平成12年10月6日

13:30	地震発生
13:32	通行止め、支社非常体制を設置
14:01	米子道(60.7KP)：路面盛上がり、橋梁10cm段差(高速隊通報)
14:02	米子道(58.0KP)：アスファルト路面に亀裂有り(高速隊→米子(管))
14:20	管理事務所、料金所損害状況 津山、三次、千代田、小郡、岡山、福山、広島、徳山、浜田、広島→異常なし 米子→確認中
14:30	米子道(江府TN)：コンクリート片落下 米子空港 滑走路段差(TV報道)
14:40	米子道(湯原IC～溝口IC)：通信回線断
14:41	広島(管)：巡回結果異常なし(高速隊も一緒に)→開通警察協議開始
14:45	広島管内(山陽道本郷IC～岩国IC)：通行止め解除
14:49	千代田(管)：巡回結果異常なし→開通警察協議開始
14:50	米子道(蒜山IC～久世IC)：通信不能 衛星車両出発(緑井発→高田IC→米子道) 一般有料米子道路 50キロ規制で開放
14:52	三次管内(中国道庄原IC～高田IC)：異常なし 小郡管内(中国道徳地IC～小月IC)：異常なし 徳山管内(山陽道岩国IC～徳山東IC)：異常なし 浜田管内(浜田道千代田JCT～浜田IC)：異常なし
14:53	支社及び事務所宿舎(米子を除く)に大きな被害なし
14:55	岡山管内(山陽道備前IC～笠岡IC)：岡山道岡山JCT～有漢IC)：異常なし
14:58	小郡管内(中国道鹿野IC～徳地IC)：異常なし
14:59	米子道(湯原IC～溝口IC)：通信回線断によりITV確認できず。 (山陽道笠井山TN(2/4)、中国道牛頭山TN(1/3)、米子道摺鉢山TN(全て))
15:00	TV報道で安来道路の路面に亀裂
15:05	一般有料安来道路 被害状況 ・306.18KP:Box上段差3cm ・306.58KP:うねり路面 ・305.78KP:吉佐高架橋ジョイントクラック ・305.83KP:御茶屋川橋ジョイントクラック ・307.15KP:盛土のり面側の舗装に2cmのクラック
15:15	広島管内(SA・PA)：異常なし
15:20	千代田(管)：15:30を目途に開放に向け確認中。
15:25	三次管内(中国道庄原IC～高田IC)：開通警察協議開始
15:30	中国道(高田IC～戸河内IC)：通行止め解除 山陽道(備前IC～福山東IC)：通行止め解除 浜田道(千代田JCT～瑞穂IC)：通行止め解除 広島道(広島北JCT～広島北IC)：通行止め解除 岡山道(岡山JCT～北房JCT)：通行止め解除 三次管内(中国道238KP～新見IC)：非常電話通話不可
15:33	米子管内(溝口料金所)：停電中・自家発電作動せず。
15:40	米子(管)：二次点検開始 ：応援要請(松江(工)、津山(工))
15:50	中国道(東城IC～庄原IC)：非常電話不通確認中
15:55	三次管内(中国道庄原IC～高田IC)：通行止め解除 同管内(SA・PA)被害状況：壁にクラック(大佐SA・七塚原SA)・停電(大佐SA(下り)) 一部商品転倒、ガラス破損、計器破損有り
16:05	松江(工)より応援5名出発
16:15	境水道大橋：橋梁・人・料金所とも異常なし 中国道(大佐SA(上下))：断水復旧
16:20	中国道(北房IC～新見IC)：通行止め解除
16:25	島根県東部：余震(震度5:M4.2)
16:50	境水道大橋：通行止め解除

## 鳥取県西部地震関係時系列

17:30	米子(管)、三次(管)：緊急体制継続 津山(管)、広島(管)：警戒体制に変更
18:20	中国道(東城IC～庄原IC)：通行止め解除
19:00	安来道路：通行止め解除
19:40	中国道：非常電話回復、(残り無線2回線)
19:55	中国道(新見IC～東城IC)：通行止め解除 安来道路：通行止め(段差修正工事開始)
20:00	津山(管)：体制縮小
20:03	三次(管)：緊急体制→警戒体制へ移行

### 10月7日

1:10	米子道(久世IC～江府IC)：50キロ規制で通行止め解除
2:45	安来道路：50キロ規制で通行止め解除
6:45	米子ICで41ガル(震度3)発生：米子道(蒜山IC～米子IC)再度点検開始
7:25	米子道(江府IC～米子IC)：通行止め解除(江府IC～溝口IC間片側交互規制開始)
7:48	米子道・安来道路・境水道大橋：緊急点検完了
8:00	中国支社の体制：非常体制→警戒体制へ移行 津山(管)より防災エキスパート(6名)米子へ出発
8:35	広島(管)：警戒体制解除
9:45	中国地建局長、JH中国支社長米子空港に到着
10:40	安来道路(米子西IC～安来IC)：工事片側交互交通規制開始
12:06	米子ICで43ガル(震度3)発生：米子道・安来道路・米子道路・境水道大橋点検開始
12:49	安来道路・米子道路・境水道大橋、点検結果異常なし。米子道点検中
13:05	安来道路(米子西IC～安来IC)：工事完了、工事片側交互交通規制終了
13:13	米子道、点検の結果異常なし
14:30	米子道：各電気室の張り付き要員及び巡回班解除。
14:50	米子道(溝口IC～米子IC)：60.7KP別所川P2ジョイント緊急補修のため通行止め開始
20:30	津山管内：警戒体制解除

### 10月8日

0:30	米子道(溝口IC～米子IC)：通行止め解除
12:42	米子(管)：防災エキスパートによる点検完了
20:51	米子ICで76ガル・境水道71ガル発生：米子道・安来道路・米子道路・境水道大橋点検開始
21:25	米子道(蒜山IC～米子IC)：通行止め 安来道路(米子西IC～安来IC)：通行止め 境水道大橋：通行止め
22:13	安来道路(米子西IC～安来IC)：307.2KP路面クラックの補修
22:30	米子道(蒜山IC～江府IC)：通行止め解除
23:20	安来道路(米子西IC～安来IC)：通行止め解除

### 10月9日

0:10	米子道：全線通行止め解除
0:45	境水道大橋：通行止め解除
9:00	米子道(江府IC)：ランプ部工事のため閉鎖
14:03	米子道(江府IC)：ランプ部工事完了、閉鎖解除
14:10	岡山管内：のり面点検結果異常なし。体制解除
18:00	安来道路路面段差調査結果 ①306.58KPは路面クラックが少し開く→巡回密に ②305.17KPの修正箇所は看板のライトアップで対応

## 鳥取県西部地震関係時系列

10月10日

9:00	米子(管): 施設設備点検開始
9:50	米子道(久世IC~江府IC): 詳細点検完了 規制速度を50キロ→70キロに変更したいとの要望あり(警察協議実施) 米子道路(大山淀江IC~米子東): 速度規制50キロ→70キロへ変更(警察協議実施)
10:15	米子道(久世IC~江府IC): 規制速度を50キロ→70キロに変更 米子道路(大山淀江IC~米子東): 速度規制50キロ→71キロへ変更
14:00	米子道: 施設設備点検完了、引き続き通信管路点検
21:58	米子ICで56カル発生: 米子道・安来道路・米子道路・境水道大橋点検開始
22:18	米子(管): 施設点検開始
23:00	米子道(蒜山IC~江府IC): 点検完了異常なし
23:20	安来道路: 土木点検完了、異常なし
23:25	米子道路: 土木点検完了、異常なし
23:36	境水道大橋: 土木点検完了、異常なし
23:40	米子道(江府IC~米子IC): 点検完了異常なし

10月11日

0:40	米子(管): 施設点検完了、異常なし
------	--------------------

## 資料 2 : 新聞記事

### 朝日新聞

2000.10.6 「鳥取県西部地震ドキュメント」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00100602.html>

2000.10.6 「鳥取県西部で震度6強96人がけが」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00100601.html>

2000.10.7 「負傷者110人家屋損壊2000棟超」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00100702.html>

2000.10.8 「損壊5200棟、余震続く」「気象庁は今後、震度5も」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00100801.html>

2000.10.9 「余震続発、復旧阻む避難いつまで 雨の被害心配」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00100901.html>

2000.10.11 「JR伯備線、運転再開地震発生から4日ぶり」

<http://www.asahi.com/paper/special/tottori/text/00101102.html>

### 山陰中央新報

2000.10.7 「被害拡大、余震も相次ぐ」

<http://www.sanin-chuo.co.jp/news/2000/10/08/01.html>

朝日新聞（2000. 10. 6）

## 鳥取県西部地震ドキュメント

<13:30>

鳥取県西部を震源にマグニチュード7.3の地震発生。

鳥取県庁に片山善博知事を本部長とした災害対策本部を設置。同県の日野、日南、溝口の3町で9277戸が停電。

同県米子市の王子製紙米子工場は、地震を検知して自動的に操業を停止。再開のめどは立っていない。

松江市の松江赤十字病院では、玄関のガラスドアが割れた。屋上の貯水タンクもひびが入って水漏れ。

岡山県勝山町の富原小学校で、玄関上部の窓ガラスが割れた。清掃中の6年生男子の背中に落下し、軽いけが。避難中、5年生男子が階段で足を踏み外して転倒、足首をねんざ。

岡山市のクラレ岡山工場は安全確認のため、操業を一時停止した。合成繊維や樹脂の主力工場、自家発電機を手動で止めた。

大阪市営地下鉄が一時、徐行運転。同市内ではマンションのエレベーター内に女性（27）が閉じ込められたが、約40分後に救出。

警察庁が警備局長を長とする災害警備本部を設置。4500人の広域緊急援助隊の待機を指示。国土庁も情報対策室を設置。

<13:31>

東海道・山陽新幹線の浜松—徳山間で運転見合わせ。JR在来線も京阪神地区と中国地方のほぼ全域で運転を取りやめた。関西の大手私鉄は阪急と南海、阪神が全線で運転を一時ストップ。

<13:34>

広島市安佐南区のパチンコ店から「店内にいた40歳の男性が落ちてきた蛍光灯で顔をけがした」と119番通報。

<13:35>

首相官邸別館の危機管理センターに官邸対策室を設置。森喜朗首相は緊急参集チーム会議で「幸いにして大きな被害の報告はないが、未確認地域もあるので、引き続き情報収集にあたり、しっかりフォローしてほしい」と指示。

防衛庁で陸上幕僚監部が関係スタッフを招集。陸上自衛隊の偵察機LR1が大阪府八尾市の八尾空港を離陸する。

広島県警が1600人体制の災害警備本部を設置。

<13:37>

警察庁が警視庁と大阪、福岡府県警の広域緊急援助隊に待機を指示。

<13:38>

陸上自衛隊第3師団（兵庫県伊丹市）が全隊員を非常呼集。

< 13 : 41 >

消防庁が非常災害対策本部を設置。

< 13 : 45 >

警察庁が中国管区警察局を通じ、岡山県警を除く4県の広域緊急援助隊に出動を指示。岡山県警の隊は同県内で活動。

米子自動車道が点検のため通行止め。

本州四国連絡橋公団が瀬戸大橋を通行止め。1時間45分後に解除された。

< 13 : 56 >

東海道新幹線の京都一浜松間で運転再開。

< 13 : 58 >

JR在来線は京阪神地区で全線運転再開。ほかの地方でも山陽線の一部などで徐々に運転再開。

< 13 : 59 >

鳥取県の防災ヘリ「とっとり」が県西部上空へ緊急出動。

< 14 : 00 >

鳥取県米子市で開かれていた「介護保険推進全国サミット」が中止される。

関西大手私鉄が全線で運転再開。

< 14 : 08 >

鳥取県日野、日南両町の停電が復旧。

< 14 : 10 >

広島市消防航空隊のヘリが緊急救助隊として鳥取に出動。

< 14 : 20 >

滋賀、京都、大阪、兵庫、鳥取、広島、山口、香川、愛媛の9府県警のヘリコプター9機が上空から被害状況を確認。

< 14 : 26 >

広島市中区の女性(93)が柵から落ちてきた置物で側頭部に切り傷を負った、と家族から119番通報があった。

< 14 : 29 >

鳥取県知事が陸上自衛隊第8連隊(米子市)に災害派遣を要請。同連隊は被害状況を把握するため、偵察部隊を米子、境港両市に派遣。

< 14 : 40 >

森首相が片山善博・鳥取県知事に激励の電話。

< 14 : 42 >

東海道新幹線は東京一新大阪間の全線で運転を再開。

< 14 : 50 >

島根県の中海周辺の地域で液状化現象のため、道路が波打っているのが確認される。「数が多すぎて把握しきれていない」と同県警安来署。



<14:50>

エレベーター1800基を管理する日立ビルシステム岡山営業所は、エレベーター内に人が閉じこめられたケースなどの対応に追われた。「停止を知らせる信号が電話回線の混乱で伝わりにくく、全体状況は現段階でわからない」

<15:00>

防衛庁が災害対策会議を開く。

<15:00>

JR伯備線の生山―上菅間（鳥取県）で土砂崩れを確認。その後、伯備線、芸備線で次々と土砂崩れや落石が見つかる。

<15:05>

鳥取県の災害対策本部に「日野町濁谷の砂防工事現場で人が埋まった」「溝口町でも車が埋まっている」と報告が入る。テレビに日野郡内で土砂崩れのため寸断された道路やJR線が映し出された。

<15:10>

防衛庁で対策会議が始まる。虎島和夫長官が同庁幹部や陸海空各幕僚長らを前に「情報収集に努め、災害に積極的に対処するように」と述べる。

<15:15>

大阪管区气象台で横山博文・地震情報官が報道陣に最初の説明会。「阪神大震災以降、内陸部では最大の地震。震源地周辺は山陰の中では活動が多い地域だ。今後、震度6弱の余震が起きる可能性がある」と注意を呼びかける。

<15:26>

安藤忠夫・内閣危機管理監が首相官邸で記者会見。「震源地は山間部なので未確認地域は残っているが、大きな死傷者、事故の発生する見込みはないという見通しだ」

<15:26>

新幹線は東京―岡山間で運転を再開。

<15:30>

中国電力（広島市）が、鳥取県など3県で停電していた約1万7000戸の復旧工事が、すべて終わったと発表。

<16:00>

中川秀直官房長官が記者会見。「蓮実進・国土総括政務次官を現地に派遣するようにした」

<16:21>

島根県東部を震源とする余震が発生。鳥取県会見町では震度5弱。

<16:40>

松江市、震災第一体制から震災警戒体制に切り替える。

<18:09>

山陽新幹線が新大阪―博多間の全線で運転を再開。

## 鳥取県西部で震度6強 96人がけが

道路半分まではみ出して、倒壊した家屋＝6日午後3時15分、鳥取県米子市和田町で



6日午後1時半ごろ、中国地方を中心に強い地震があった。気象庁によると、鳥取県境港市で震度6強を観測したのをはじめ、岡山県北部や香川県東部で震度5強を観測するなど、西日本から関東にかけての広い範囲で揺れを感じた。

国内で震度6強を観測したのは1995年1月の阪神大震災(震度7)以来で、気象庁は「鳥取県西部地震」と名付けた。鳥取県の片山善博知事は午後2時29分、陸上自衛隊に災害派遣を要請した。政府も首相官邸に対策室を設置した。

朝日新聞社の調べでは7日午前1時現在、中・四国、近畿地方の1府8県で590棟の家屋が損壊し、96人がけがをした。東海道・山陽新幹線が一時運転を見合わせ、約19万人に影響が出たほか、米子空港は、滑走路に亀裂が入って閉鎖となった。鳥取県災害対策本部によると、米子市など県内で計2000人以上が避難所で夜を過ごしているという。

### 各地の震度



気象庁によると、震源は鳥取県米子市の南約20キロ、深さは約10キロ。地震の規模は、阪神大震災のマグニチュード(M)7.2を上回るM7.3と推定される。地震は北西―南東方向の断層が横ずれして発生した可能性が高いという。この断層は、これまでには知られていないもので、長さ約20キロか、それ以上とみている。

気象庁の観測では、その後も震度3以上の余震が頻発している。同庁は「M6以上の大きな余震が起こる可能性がある」と警戒を呼びかけている。

阪神大震災はM7・2で、6000人以上の死者が出た。今回の地震の規模はこれを上回るが、大阪管区気象台は「断層が地表に達していないため、阪神大震災のような強さの揺れにならなかったのでは」としている。東京大学地震研究所の解析によると、この地震のエネルギーの大きさは、阪神大震災の4割程度だった。

朝日新聞社のまとめによると、7日午前1時現在で1府8県で96人のけが人が確認された。鳥取県が64人と最も多く、次いで岡山13人、島根県8人、広島県と大阪府が各3人などとなっている。鳥取県では536棟の家屋が壊れ、島根県では36棟、岡山県では18棟がそれぞれ損壊した。

東海道・山陽新幹線は、岡山県倉敷市内など沿線計11カ所の地震計が揺れを感知したため、愛知県豊橋市から山口県岩国市にかけての約600キロの区間で、一斉に送電がストップした。午後6時過ぎには全線で運転を再開したが、上下57本が運休、240本が最大約4時間40分遅れ、約19万人の足が乱れた。

防衛庁と運輸省によると、航空自衛隊美保基地（米子空港）の滑走路を横断する格好で幅1センチ、長さ約45メートルの亀裂が2本入り、使用不能となった。鳥取、出雲（島根県）空港なども点検のため一時閉鎖されたが、いずれも異状は確認されず、解除された。

全日本空輸や日本エアシステムは7日以降、羽田―出雲、鳥取間に臨時便を運航する計画だ。

また、JR伯備線でレールの湾曲や根妻トンネルの一部崩壊などが確認されたほか、山陰線米子駅構内で機関車の脱線、芸備線の備後庄原駅付近で落石などがあつた。

高速道路は中国、米子、岡山、浜田、山陽、高松、広島、阪和、瀬戸中央の各自動車道で計12区間が通行止めになった。

海上保安庁の調査では、境港の岸壁に亀裂や液状化現象、水道水圧低下が見つかった。島根県の御津漁港では防波堤の横ずれ、岡山県の宇野港フェリー岸壁の一部に沈下があつたという。運輸省によると、地震による港湾施設の被害総額は約16億円。

また、鳥取、島根、岡山の3県で1万7000世帯以上が停電。厚生省によると、鳥取県内の2市8町、島根県内の4市5町などで水道施設への被害が出た。電話回線や携帯電話は中国、四国、近畿地方でつながりにくい状態が続いた。

朝日新聞（2000. 10. 7）

## 負傷者110人家屋損壊2000棟超



大地震で全壊した住宅はがれきの山となり、家人が壁などを掘り返して貴重品などを探していた＝7日午前10時10分、鳥取

阪神大震災後、最大の震度6強を記録した鳥取県西部地震は、朝日新聞社の7日正午現在のまとめで、中・四国、近畿地方の1府8県で負傷者が110人、家屋の損壊は鳥取、岡山、島根県で2118棟に上った。激しい揺れに見舞われた同県日野町などでは、計約3000人が避難所で不安な夜を過ごした。

余震は7日も続き、正午現在で計299回に達した。午前5時前にはマグニチュード（M）4.9の余震で、同県の日野、溝口両町では震度4を観測した。大阪管区气象台は引き続きM6以上の余震が発生する可能性があるとして、警戒を呼びかけている。

けが人は鳥取県が74人ともっとも多く、次いで岡山県17人、島根県8人、広島県、大阪府各3人、香川県2人など。鳥取県で1767棟、岡山県で300棟、島根県で51棟の家屋が壊れた。とくに日野町では全世帯の約7割に当たる約1000世帯が一部損壊以上の被害を受けた。同町は7日、県に仮設住宅の建設を要請した。

東海道・山陽新幹線は始発から通常運転を始めているが、鳥取県内などの伯備線は不通が続いている。JR東日本によると、東京と出雲市で7日夜発のサンライズ出雲号が上下とも運休する。米子空港は滑走路に約45メートルの亀裂が入って閉鎖されたままで、全日空は発着を鳥取空港に変更して臨時便を運航している。

朝日新聞（2000. 10. 8）

## 損壊5200棟、余震続く 気象庁は「今後、震度5弱も」

雨に備え壊れた屋根にシートをかけた家が目立った＝7日午後4時50分、鳥取県日野町で、本社ヘリから



鳥取県西部地震は7日、同県西部や島根県東部で余震が断続的に発生した。震度4を4回、震度3を38回観測するなど、体を感じる余震は8日午前零時まで381回に達した。気象庁によると、余震は減少傾向にはあるが、活発な状態が続いているという。同庁は「今後も震度5弱以上の地震が発生するおそれがある」として、引き続き、壊れかけた建物の崩壊、がけ崩れなどへの注意を促している。鳥取、島根両県では、約2200人が避難所で不安な2日目の夜を迎えた。

気象庁によると、7日夕から3日以内にマグニチュード(M)5以上の余震が発生する確率は40%、M6以上は5%程度だという。また、8日昼前から9日明け方にかけて中国地方でまとまった雨が降る恐れがあるとして、地震で地盤が緩んでいる地域では、土砂災害に注意するよう呼びかけている。

被害は警察や行政の確認作業が進むにつれて拡大しており、8日午前1時現在、けが人は中国、四国、近畿地方の9府県で126人、損壊した家屋や公共施設などは軽微なものを含めて6県で5268棟にのぼった。

地震発生から1日以上たっても、避難所で不自由な生活を続けている住民は、7日午後9時現在、鳥取県内で2088人。島根県伯太町では同11時現在で153人になる。避難住民は、日中は自宅で過ごしても、夜になると避難所へ戻る人が多い。鳥取県日野町下榎の避難所にいた主婦(61)は「ゆっくり生活するためにも早く仮設住宅を」と話した。

ライフラインも完全復旧には至っていない。7日午後6時現在、鳥取県内では約790世帯で、岡山県内では約660世帯で断水が続いている。

土砂で線路が埋まったJR伯備線(岡山、鳥取県)の不通区間は8日も終日運休する。

一方、滑走路に亀裂が入り、閉鎖が続いていた米子空港では7日午後、運輸省や防衛施設庁の関係者が集まり、11日にも供用を再開する方針を固めた。6日夜から補修工事を進め、10日にも工事が完了する見通しが立ったという。

## 余震続発、復旧阻む避難いつまで 雨の被害心配

新たな土砂崩れがJR伯備線の線路や並行する国道181号をふさいだ。8日午後2時40分、鳥取県日野町貝原で、本社ヘリから



地震発生から3日目を迎えた鳥取県西部地方は8日も余震が断続的に発生し、9日午前1時までに、体に感じる地震は計511回に達した。この影響で、同県日野町のJR伯備線沿いの山林が崩れ、線路と、線路に並行する国道をふさいだ。負傷者はなかった。伯備線の全面復旧はさらにずれ込むことになる。

また、同日夜の余震で、県西部の西伯町で震度5弱が観測された。震度5弱は、発生日の6日にあった余震と同じ震度だが、地震の規模はマグニチュード（M）5.0で最大。鳥取、島根の両県では計約1700人が避難所で3度目の夜を過ごした。鳥取地方気象台は9日午前零時すぎ、鳥取県全域に大雨注意報を発令。雨模様の被災地では余震や降雨による2次災害も懸念され、自治体では警戒態勢を強めている。

8日午後8時51分ごろ、鳥取県西伯町で震度5弱を記録する余震があった。米子市、境港市、島根県安来市で震度4、鳥取県日野町でも震度3が観測された。震源は島根県東部。西伯町では午後9時すぎ、避難所を3カ所増やして計11カ所にするなど対応に追われた。

この余震の影響で、西伯町福成の避難所では、天井から照明器具が落下、避難していた全員が別の避難所に移った。

JR伯備線わきで山林が崩れたのは同日正午過ぎ。大量の土砂や倒木が線路を埋め、国道181号もふさいだ。伯備線の一部は8日も終日運休、復旧のめどは立っていない。けが人は9日午前1時現在、中国、四国、近畿の9府県で132人、損壊した家屋などは5410棟にのぼる。

鳥取県は、大きな被害を受け災害救助法を適用されていた米子市と西伯、日野、溝口各町に加え、境港市と会見町に同法を適用することを8日決めた。適用日はいずれも6日。

また、8日午後1時17分ごろ、島根県東部を震源とする地震があり、同県大東町と斐川町で震度4を記録。気象庁によると、この地震は鳥取県西部地震の余震ではないが、震源に近い島根県横田町は、災害対策本部を再度設置した。

朝日新聞（2000. 10. 11）

## J R 伯備線、運転再開地震発生から4日ぶり

伯備線の復旧作業にあたる作業員



J R 西日本は10日、鳥取県西部地震による土砂崩れなどのため一部で不通になっていた伯備線の伯耆大山—新郷間の復旧作業や点検を終え、午後1時13分出雲市発岡山行きの特急「スーパーやくも18号」から運転を再開した。同日中に、特急「やくも」など計33本を運行する。全面開通は、6日の地震発生以来4日ぶり。一部で徐行するため、いずれも到着が数分程度遅れる見込み。

山陽地方と日本海側を結ぶ同線は、6日午後の地震発生直後から不通になり、倉敷—新郷間での折り返し運転していた。

## 被害拡大、余震も相次ぐ

震度6強を記録した鳥取県西部大地震から一日たった七日も、県西部を中心に震度4の余震が相次いだ。被害は判明するのに従って拡大。懸命の復旧作業で、ライフラインや交通網などは持ち直し始めたが、住民が元の生活を取り戻すには、まだ時間がかかりそうだ。米子市と日野、西伯両町は六日深夜、災害援助法が適用された。余震はさらに続く可能性があり、県災害対策本部（本部長・片山善博知事）は、引き続き警戒を呼び掛けている。



鳥取地方気象台は七日、震度4の地震を三回観測した。有感地震は午後五時現在で百三十八回。六日からの合計は三百五十一回に上った。震度5以上の余震が発生する確率は、依然として四〇%程度という。

重軽傷者は境港市を中心に八十五人に増加。建物被害は合計約二千棟で、うち全半壊は境港市や日野町を中心に百二棟。西伯町や日野町、米子市などで、計約二千七百人が避難生活を余儀なくされている。

交通機関は、米子空港で滑走路の亀裂、JR伯備線で土砂崩れなどのため、復旧のめどが立っていない。道路は国道180号などで片側通行が続いている。

ライフラインでは電話、電気が完全復旧したが、西伯町三百八十世帯、日野町三百世帯など計七百九十世帯が断水している。

企業活動への影響も大きく、米子富士通などが点検のため操業停止。境港市昭和町の水産加工会社も被害状況を調べるため休業。一方、米子高島屋や境港やよいデパートなど、大型店は営業を再開した。

農業関係では、米子市彦名干拓地で液状化現象の影響で、ニンジンや大根の畑など約二十一ヘクタールで八千百万円相当の被害。境港市の弓ヶ浜干拓地や会見、岸本、淀江各町のナシ園でも被害が出た。

また大山町所子の国指定重要文化財「門脇家住宅」茶室の壁に亀裂が入ったほか、溝口町役場が建築技師の調査で危険と判定され、業務ができない状態になっている。

こうした被害を受け、扇千景国土庁長官（建設相）ら政府調査団や片山善博知事らが、現地入りして被災状況を視察した。



県は境港市の求めを受けて、自衛隊に災害派遣を要請。被災した各市町村に医師や保健婦を派遣し、健康相談やメンタルケアなどを実施している。市町村の要請で、水や毛布、弁当などの支援物資を送った。

鳥取県警は広域緊急援助隊の協力などを得て、余震被害を警戒している。

被災地ではボランティアの支援活動が始まり、県砂防ボランティア協会が、土砂災害危険個所をパトロール。中国管区の女性警察官による「コスモス隊」が住民の困り事相談に乗った。県内各市町村の社会福祉協議会、鳥取大学工学部なども支援準備を整えている。

島根県内では県境付近の八束町や伯太町を中心に、家屋損壊が千九百棟を超えるなど被害が広がった。

県のまとめで、けが人は前日より二人増えて八人。家屋被害は八束町で新たに全壊二棟、半壊二棟。一部損壊は県東部十市町の一千九百八棟。

中海の中浦水門は、普通車に限定して通行可能になり、安来道路は復旧した。空の便は米子空港の閉鎖に伴い、出雲―東京―往復を臨時で増便した。

